

講演

～難病と診断されても明日のために～

柔軟な倫理観とモラル

入場無料

NPO法人 DDNC

理事長 恵木 規之氏

サクソフォン四重奏コンサートを
交えた講演会を開催します
進行のながれ ①講演 ②演奏 ③講演 ④演奏 ⑤講演 ⑥演奏 ⑦音楽家との交流

2026 4.21 TUE

開演:18:30 開場 18:00 終了 20:00(予定)

「ろうきん」働く人と子どもの明日を応援プロジェクト 2026 助成金事業

AMICAL Saxophone Quartetto

サクソフォン四重奏コンサート



Program (順不同)

ライラック /Mrs.GREEN APPLE

魔笛 /W.A. モーツァルト

銀河鉄道 999 / タケカワユキヒデ

革命道中 / アイナ・ジ・エンド

ファンファーレ / 玉置浩二

トゥモロー ～ミュージカル「アニー」より～

/C. ストラウス

主催者リクエスト

庭師 KING / 白虎野の娘 / 平沢進

※プログラムの内容は予告なく変更となる場合がございます。

左より増井一喜・藤田遥香・渡邊丈留・多田清志朗

参加申し込み

QRコードを読み取りフォームに
必要事項をご記入ください。

インターネットが苦手な方は
お電話でお申し込み下さい。

TEL.0263-74-0721



穂高交流学習センター「みらい」

お問い合わせ NPO法人 DDNC ダメージ・ダイレクト・ネゴシエーション・コントロール

〒399-8301 長野県安曇野市穂高有明 7782-18 TEL.0263-74-0721

難病と診断されても 明日のために!

NPO 法人 DDNC は、全国の難病患者に対して各種申請手続きの支援を行うとともに、一般市民に向けて難病に関する理解を深めるための啓発活動を実施しています。これらの活動を通じて、難病患者の闘病生活における福祉の向上と、社会全体における難病への理解促進に寄与することを目的としています。また、関係機関との連携を図りながら、難病患者支援を活動の主軸として継続的に取り組んでいます。

設立者プロフィール

母親の入浴介護中に火傷を負わせてしまったことをきっかけに、自身の感覚に違和感を覚える。

20代に左腕の麻痺を経験しており、痺れが日常化していたため、当時すでに起きていた首から下の痺れや麻痺に気づくことができなかった。

気づかないまま症状は進行し、結果として脊椎損傷にまで至り、立ち上がることも困難な状態となる。

その後の検査により、生まれつきの身体的特性に加え、後縦靭帯骨化症 (OPLL) が原因となって脊柱管が狭窄し、脊柱管狭窄症を発症していたことが判明する。

医療費については、高額療養費制度により一時的に自己負担を行い、後日返還を受ける形で対応していたが、その後、指定難病受給者証が発行され、医療費に関する支援制度の対象となった。

一方で、障がいや日常生活に関わる支援については、制度の要件や判断の壁により、身体障がい者認定を含む福祉制度には長くつながることができなかった。

母親も大病により下半身不随となったが、同様に障がい者認定に至らない状態が20年以上続き、生活を支える福祉制度の利用や申請には至らなかった。

これらの経験を通し、医療と生活支援で制度の入口や判断基準が異なること、複数の制度が並立する中で当事者が支援につながりにくい構造があることを実感する。

こうした経験を背景に、当事者の立場から対話と交渉能力を持つため、制度と人をつなぐ役割を担う団体を設立し NPO 法人化した。

NPO 法人 DDNC ダメージ・ダイレクト・ネゴシエーション・コントロール



活動拠点
〒399-8301 長野県安曇野市穂高有明 7782-18
TEL.0263-74-0721
ddnc2023npo@gmail.com



ホームページ YouTube

AMICAL Saxophone Quartetto

Amical Saxophone Quartetto

公演依頼は アミカルサクソフォンカルテット
kzkmsi32@gmail.com (増井まで)

私たち Amical Saxophone Quartet は、フランス語で「優しい・親しみのある」という意味の Amical を名前に掲げ、サクソフォンの音色を通してその魅力をもっとたくさんの人に届けたいという思いで活動している 4 人組です。



Kazuki Masui 増井 一喜

安曇野市出身。サクソフォンを林田和之氏、室内楽を木村健雄氏に師事。尚美学園大学に特待生として入学し首席卒業。同大学成績優秀者演奏会や卒業演奏会に出演。2022 年ヤマハ管楽器新人演奏会に出演。第 1 回南信州国際サクソフォンコンクール、一般部門に第 1 位。2025 年に松本市音楽文化ホールにてソロリサイタルを開催。現在は関東圏を中心に演奏・指導を行う。長野県若手芸術家支援事業 next 登録アーティスト。島村楽器音楽教室サクソ科講師。



Haruka Fujita 藤田 遥香

愛媛県四国中央市出身。愛媛県立三島高等学校を卒業ののち、国立音楽大学音楽学部弦管打楽器専修 (サクソフォン) を卒業。同大学院修士課程を修了。アメリカで開催された Frederick L. Hemke Saxophone Institute 2024 に参加。瀬木音楽財団 2024 年度短期海外研修奨学生として助成を受ける。これまでにサクソフォンを雲井雅人、室内楽を雲井雅人、滝上典彦の各氏に師事。



Takeru Watanabe 渡邊 丈留

北海道稚内市出身。札幌大谷大学音楽学科管弦打楽器コースに入学し 4 年次より芸術特待生として在学し卒業。国立音楽大学ディプロマコースを経て 2024 年度よりフリーランスで東京、北海道にて演奏活動、後進への指導を行う。第 10 回 K サクソフォンコンクール 大学・一般の部特別優秀賞受賞。大学在学中より卒業演奏会、札幌交響楽団・札幌プラスの客演を務める。第 16 回定期演奏会にて札幌大谷大学学内オーケストラと J. イベール作曲 Concertino da camera を共演し好評を博す。Amical Saxophone Quartette テナーサクソフォン奏者として所属。アサヒ音楽教室 島村楽器むさし村山店・橋本店講師。これまでにサクソフォンを山田洋介 坂東邦宣 田中靖人各氏に師事。



Seishiro Tada 多田 清志朗

大阪府出身。12 歳よりサクソフォンを学ぶ。尚美学園大学を次席の成績で卒業。第 25 回長江杯国際コンクール管楽器部門第 2 位受賞。個人レッスンや、ジャズバンドの指導、吹奏楽では全国大会出場校のレッスンなど後進の指導にあたる。サクソフォンを林田和之氏、崔勝貴氏の各氏に師事。室内楽を木村健雄氏に師事。

Design&Creative アルトノート株式会社は NPO 法人 DDNC の活動を応援しています。



難病と診断されても

明日のために!

NPO法人

DDNC

ダメージ・ダイレクト・ネゴシエーション・コントロール

NPO 法人 DDNC は全国の難病患者に対して各種申請の支援と一般市民に対して難病について周知する啓蒙活動を行うことで、難病患者の闘病生活の福祉と難病の理解の向上に寄与することを目的としています。

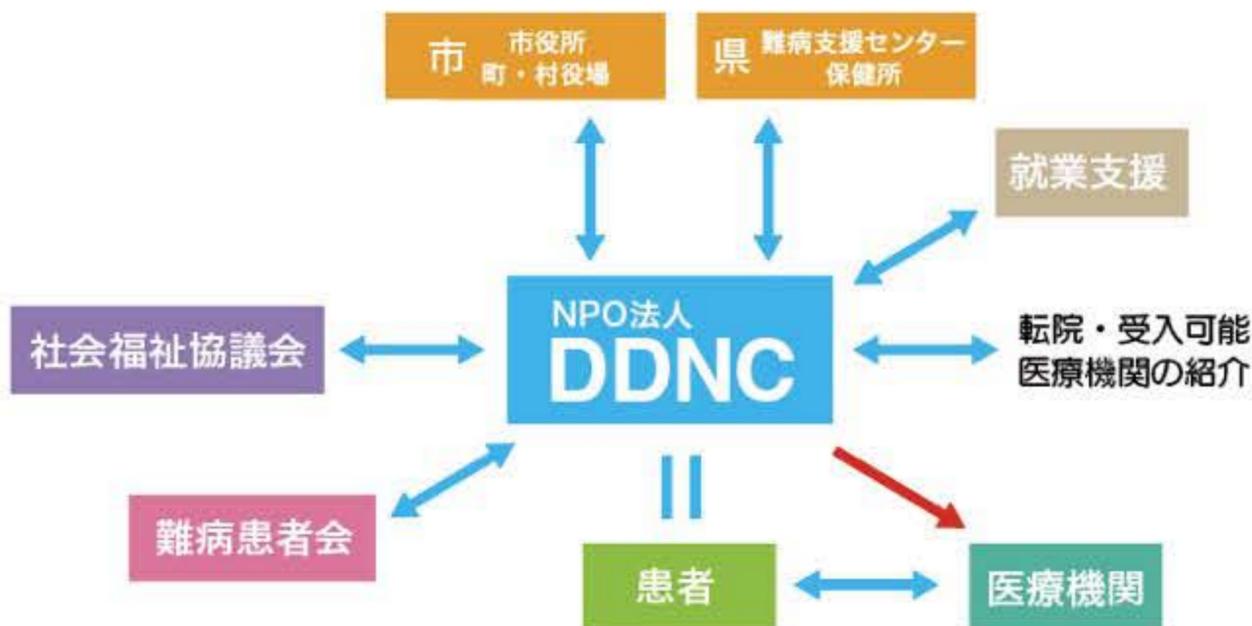
私たちは難病罹患者に対して、以下のことをボランティアで行っております。

<p>難病患者の各種申請の支援事業 身障者・各補助・給付金の申請など</p> <p><small>※必要な書類送達のため切手代はご負担いただきます。</small></p>	<p>難病について周知する 啓蒙活動事業</p>	<p>16才未満の MRI 任意検査の 保険適用に関する署名活動</p>
--	------------------------------	--

指定難病発症時、

身体的症状によるところ数多くの医療福祉・介護保険サービス、給付金や障害年金等の利用ができます。
しかし、難病患者1,021,606人に対し、利用者は3,953人でその利用率はわずか**0.4%**です。

(2021年度厚労省調べ)



制度利用には思いもよらない高いハードルが存在します。また、制度が利用できることを知らない難病患者も多く、利用率の低い原因になっています。

各種制度利用と関係窓口との交渉経験が豊富な DDNC へご相談ください



ホームページ

NPO法人 DDNC

ダメージ・ダイレクト・ネゴシエーション・コントロール
活動拠点 〒399-8301 長野県安曇野市穂高有明 7782-18

TEL.0263-74-0721



YouTube

NPO 法人 DDNC の活動支援のためこのチラシを無償提供しています。

Design & Printing Supported by アルトノート株式会社